

建設業イメージ向上 ポスターに角田選手

県協会

完成したポスターを紹介する青柳会長



県建設業協会（青柳剛会長）は、業界のイメージアップに県内建設業者の応援ポスターを初めて作成した。パリ五輪柔道女子48級級の金メダリスト、角田夏実さんを「広報大使」に起用。県や建設関係団体、小中学校などに配布する。

「つくる」「守る」「育てる」の3部作の第1弾と位置付け、キャッチコピーに「地域の建設業 応援宣言」「つよいぞ群馬」「災害レジリエンスNo.1」などを掲げた。2千枚作成

し、4月下旬にも第2弾を発表する予定。

31日、前橋市の群馬建設会館で会見した青柳会長は「日本柔道の強さと国土強靱化を掛け合わせた。手作り感と物語性のあるポスターになった」とした。

会員企業向けに今年行った働き方改革に関するアンケートで、9割以上が人材不足を課題に挙げた。業界の実態を踏まえ、地域貢献できる産業であることをアピールし、人材確保にもつなげる。（小山大輔）

広報大使に五輪金メダリスト角田夏実選手起用

群馬建協、若者にアピール

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は、地域建設業を応援するポスターを作成した。広報大使に2024年パリ五輪柔道女子48kg級金メダリストの角田夏実選手を起用し写真（群馬建協提供）。若者への情報発信時などに活用する。青柳会長は「柔道の強さと国土強靱化を掛け合わせた」と説明。国土交通省や群馬県、各建設関係団体などに計2000枚配布する。今後さらに数種類のポスターを発表



するという。

3月31日に発表した。人材不足に対する危機感を募らせる同建協は、若い人が建設業に目を向けてくれるような、地域性を強調した広報戦略を展開していく。青柳会長は「地域に縁のある人が、地域で育てば、『建設業の金メダル』を取れるような人が生まれるだろう」とポスターに込めた思いを語った。

角田選手の祖父は群馬県昭和村の出身。地域の人脈を活用し、制作に至った。

人材確保へやりがい周知

地域建設業 広報大使に柔道・角田選手
応援ポスター

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は3月31日、2025年度に向け、地域建設業応援宣言ポスターの第1弾を発表した。群馬県に縁のある柔道五輪メダリストの角田夏実選手を広報大使に起用したポスターで、「つくり・守り・育てる・備える」業界の存在を多くの県民、若者たちに周



ポスターを掲げる青柳会長

群馬建協

知する。地域に貢献しやりがいのある仕事であることをPRすること、人材確保にもつなげたい考えだ。5月までにさらに2パターンのポスターを作成し、就職を控える高校生にも積極的に魅力を発信する。地域建設業協会が作成する全国初の広報ポスターになるという。

同日、前橋市の群馬建設会館でポスターを発表した青柳会長は「2月に公表した働き方改革に向けた会員向けアンケートで、9割以上の会員が人材不足を課題に挙げていた。広く一般県民、若い人たちに目を向けてもらうための広報戦略ができないかと考え、昨年末から検討を進めてきた」と経緯に触れながら、5月に発表する見通し。

地域建設業らしさを伝えるため、父親が群馬県昭和村出身の角田選手を起用したと説明した。その上で「柔道の強さと国土強靱化をかけあわせたポスターを作成した。ものづくり性も重視し、今回は『つくり・守り・育てる・備える』がメッセージだが、守り、育てる、備える存在であることを打ち出すポスターも作成する予定だ」と力を込めた。初弾ポスターには、群馬県県土整備プランが掲げる「災害レジリエンスNo.1」の目標も示した。

ポスターは約2000枚を作成し、国土交通省、群馬県、関係団体や小・中学校に広く配付して掲示してもらう予定だ。第2弾は4月、第3弾は5月に発表する見通し。

群建協

モデルは角田夏実氏

応援宣言ポスターを発表

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は3月31日、群馬建設会館で地域の建設業応援宣言ポスターを発表した。モデルに父親が昭和村出身で、柔道のパリオリンピック金メダリストの角田夏実さんを起用。柔道の強さと国土強靱化を掛け合わせたポスターとなっており、手作り感満載で物語性のあるポスターが仕上がった。

ポスター製作は会員の「広く一般の人たち、特



協会ポスター

に若い人が建設業に目を向けてもらえるような分かりやすい広報戦略を」といった声を受けて行った。地域の人脈を活用し、地域に縁のある人をモデルに起用した手作り感覚で広報戦略を展開することをポイントに実施。青柳会長は「つくるに引き続き、今後は守る、育てるをテーマにしたポスターも製作していきたい」と述べた。